



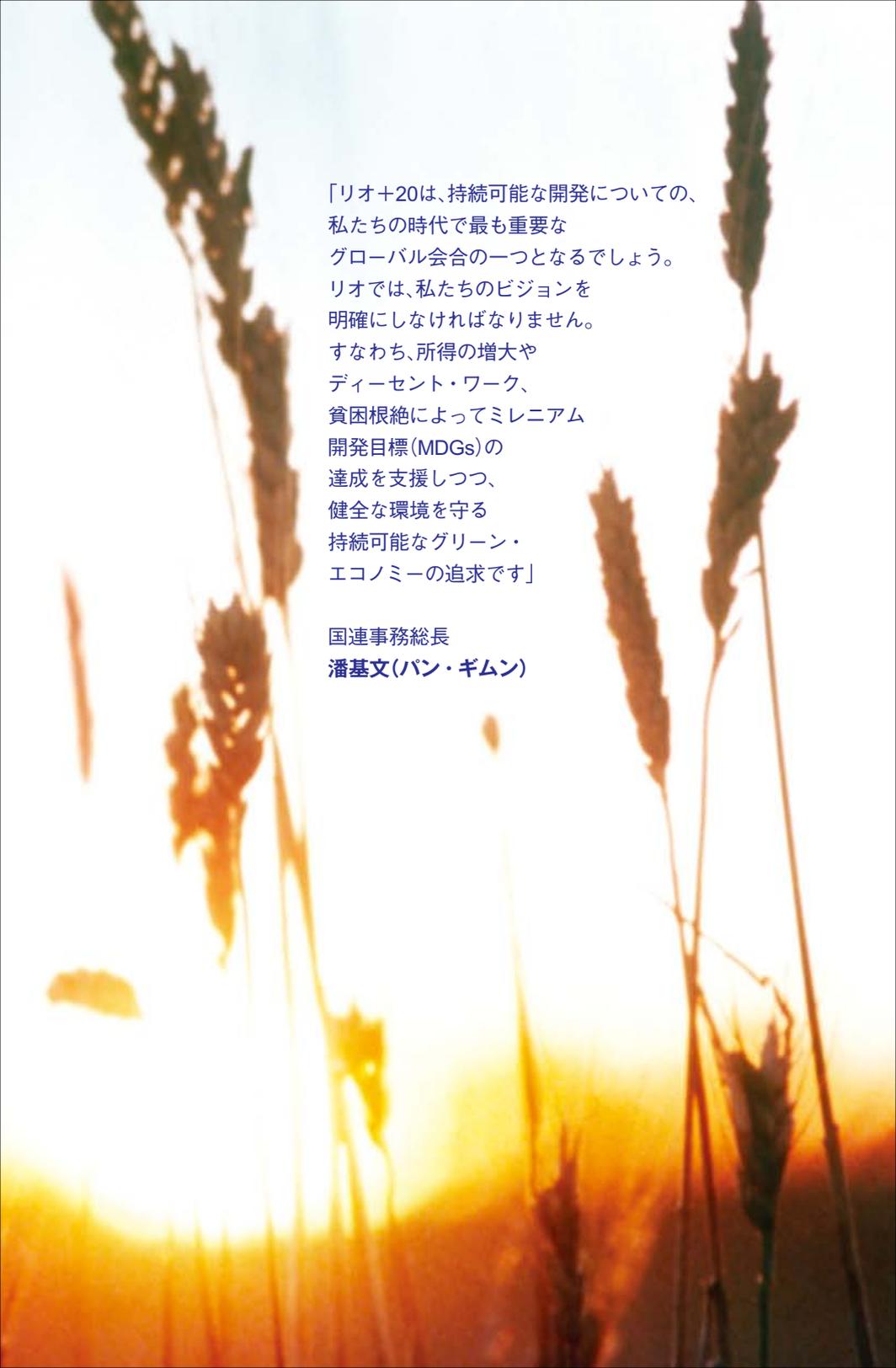
リオ+20
国連持続可能な
開発会議

リオデジャネイロ(ブラジル) • 2012年6月20日-22日

the future
we want →

私たちが望む未来





「リオ+20は、持続可能な開発についての、
私たちの時代で最も重要な
グローバル会合の一つとなるでしょう。
リオでは、私たちのビジョンを
明確にしなければなりません。
すなわち、所得の増大や
ディーセント・ワーク、
貧困根絶によってミレニアム
開発目標(MDGs)の
達成を支援しつつ、
健全な環境を守る
持続可能なグリーン・
エコノミーの追求です」

国連事務総長
潘基文(バン・ギムン)

リオ+20とは何ですか？



リオ+20
国連持続可能な
開発会議

リオ+20とは、2012年6月にブラジルのリオデジャネイロで開催される「**国連持続可能な開発会議**」の略称です。この会議は、すべての人々にとってより安全で公平な、クリーンで環境に優しく、より豊かな世界への道のりを定める歴史的な機会となります。

今年、**1992年のリオの地球サミット**から20年になります。地球サミットでは各国が「**アジェンダ21**」を採択し、経済成長を見直し、社会的公正を高め、環境保護を実現するための青写真としました。国連はこの20年という節目に、再び各国政府や国際機関、そして主要グループ¹の参加を得て、貧困を減らしつつ、ディーセント・ワーク、クリーン・エネルギー、そしてより持続可能で公正な資源利用を促進できる幅広い賢明な措置への合意をめざします。

リオ+20は、これまでのやり方を変えて、貧困を終わらせ、環境破壊に取り組み、未来への架け橋を築くための行動を起こすチャンスとなります。

持続可能な開発とは、「**将来の世代がそのニーズを満たす能力を損なうことなく、現在のニーズも満たせるような開発**」を指します。

ブルントラント委員会（1987年）

¹「アジェンダ21」は次の9つの主要グループを定めています：女性、子どもと青少年、先住民、非政府組織（NGO）、地方自治体、労働者と労働組合、企業と産業、科学技術関係者、農業従事者。



UN Photo

現在、人類の半分は都市に暮らしています。
今後20年以内に、世界人口のほぼ60%に
あたる50億人が都市生活者となります。
(出典: UN-HABITAT国連人間居住計画)

リオ+20は なぜ必要なのですか？

- ▶世界人口は現在の**70億人**から、2050年には90億人にまで増加する。
- ▶現在、人口の5人に1人にあたる14億人が、**1日1ドル25セント以下**で生活している。
- ▶電気を利用できない人々は全世界で15億人、トイレがない人々は25億人存在する。そして、およそ10億の人々が日々、**飢え**に苦しんでいる。
- ▶温室効果ガスの排出量は増え続けており、**気候変動**に歯止めがかからなければ、これまで確認されている生物種全体のうち、3分の1以上が絶滅する恐れがある。
- ▶私たちの子どもや孫たちに**人間らしい生活が営める世界**を残すためには、**貧困のまん延と環境破壊**という課題に今すぐ取り組む必要がある。
- ▶こうした緊急課題に今すぐ本格的に取り組まなければ、**貧困や不安の増大、地球環境の劣化**など、将来において**さらに大きな代償**を払わなければならないだろう。
- ▶**リオ+20は、グローバルに考える機会**を提供する。そうすることで、私たち皆が共通の未来を確かなものにするために、ローカルなレベルで活動できるようになる。

*「持続可能な開発は選択肢ではありません。それは全人類がこの地球で、共に人間らしい生活を営むことができるために残された唯一の道です。私たちの世代がその道を選べるようにチャンスを与えてくれるのが、**リオ+20**です」*

沙祖康 (シャ・ズカン)
リオ+20会議 事務局長



リオ+20
国連持続可能な
開発会議

リオ+20は どのような課題に 取り組むのですか？

都市、エネルギー、水、食料、生態系など、持続可能な開発が抱える多くの課題に対する解決策は、すでに知られています。

リオ+20で各国は、次の方法でこれらの解決策を実現する道を探っていきます。

ソーラーパネルを使って移動式住居の
電力をまかなうモンゴルの家族

UN Photo



タンザニア、ダルエスサラームに近い
海岸の漁師

UN Photo





デンマーク、ミドルグロン
洋上風力発電所

- ▶ **貧困の根絶**に全力を挙げながら、**より環境に優しい経済**への移行を図る。
- ▶ 乱獲や海洋生態系の破壊、気候変動の悪影響から私たちの**海**を守る。
- ▶ 私たちの**都市**をより暮らしやすく、より効率的な場所にする。
- ▶ 経済成長を促進しつつ、炭素排出量や屋内外の汚染を大幅に削減できる再生可能**エネルギー**源の利用を広める。

韓国、ソウル市街を
蛇行しながら走る列車





リベリアの森

「持続可能な開発の課題は、
21世紀の成長課題でもあります」

国連事務総長
潘基文（パン・ギムン）

- ▶ **森林管理**を改善し、幅広い恩恵を提供する。2030年までに**森林伐採**を半減させることで、温室効果ガス排出による気候変動の被害額3.7兆ドルが回避できると推定される。それ以外にも、森林がもたらすものとして、仕事や収入、生物多様性、きれいな水、および医薬品などがある。
- ▶ 開発を促し、砂漠化を防ぐために、私たちの**水資源**を保全・管理する方法を改善する。

ニジェールの干上がった川底



持続可能な開発は うまく行くのですか？

過去20年以上にわたり、エネルギー、農業、都市計画、および生産・消費などの分野で、持続可能な開発の成功例が多く見られています。

- ▶ケニアでは、革新的な資金調達メカニズムによって、太陽光、風力、小規模水力、バイオガス、都市廃棄物エネルギーなど、**再生可能エネルギー源**への新規投資が活発になり、所得と雇用が生まれた。
- ▶中国では、再生可能エネルギー源の開発に基づく**低炭素成長戦略**へのシフトが進み、有望な低炭素産業で雇用や所得、安定した収入が生まれた。
- ▶ウガンダでは、**有機農業**への移行により零細農家に収入と所得が生まれ、経済、社会、環境に恩恵をもたらされた。
- ▶ブラジルでは、サンパウロで「クリーン開発メカニズム」に基づくプロジェクトが採用され、市内で最大の廃棄物集積場2カ所が**持続可能な埋め立て処理場**へと姿を変えた。この埋め立てにより、2004年から2011年9月までに、メタン35万2,000トンの大気中への放出が回避され、代わりに100万メガワットを超える電力が生み出された。
- ▶ネパールでは、地元の森林利用者グループが主導する**コミュニティ・フォレストリー（地域住民の森林）**が、1990年代に減少の一途をたどっていた森林資源の回復に貢献した。
- ▶カナダでは、北米で最も権威ある環境認証マーク「エコロゴ」が、厳密な**環境基準**を満たす数千の商品の販売を促進している。
- ▶フランスでは、2006年から2008年にかけて、省エネや再生可能エネルギー開発の分野を中心に、**グリーン・セクター**で9万件の**仕事**が生み出されたと推定される。
- ▶ハイチでは、「コートスュッド・イニシアティブ」が、グレーター・ロンドン（大ロンドン）の約半分にあたる深刻な**土地劣化地区の回復**と持続可能な開発を通じ、20万5,000人に恩恵をもたらす見込みだ。



UN Photo

スイスのジュネーブで行われた「ゼロ・エミッション・レース」でゴールする電気自動車。

エネルギー需要が高まる世界において、輸送は大きな牽引力になると見られています。輸送は、先進国ではエネルギーの最終用途に最も大きな割合を占めており、多くの開発途上国においても、最も急激に需要を伸ばしています。

(出典: 国連経済社会局)



リオ+20
国連持続可能な
開発会議

リオ+20では 何が起きるのですか？

各国政府、民間企業、NGO、その他の関係者を代表する**数千人の参加者**が、2012年5月末から6月初旬にかけてリオに結集し、持続可能な開発への強力な推進を図ります。

2012年6月、同じくリオで、リオ+20のための準備委員会の最終会期と本会議が開催されます。

公式行事と同時に、あるいはその合間に、数多くのサイドイベント、展示会、説明会、見本市、発表会が幅広いパートナーによって行われます。

公式協議では、**2つの主要なテーマ**を中心とした話し合いが行われます。第1のテーマは、持続可能な開発を達成し人々を貧困から救い出すためには、どのような形でグリーン・エコノミーを構築すればよいかということです。このテーマには開発途上国が環境に優しい開発の道を探るための支援が含まれます。そして第2のテーマは、持続可能な開発に向け、国際協力をどのように改善していくかということです。

各国政府には、過去20年間に見られた多くの成功例をもとに、持続可能な開発を実現するための、明確で焦点を絞った現実的な措置を採択することが期待されています。

リオデジャネイロ(ブラジル)



リオ+20
国連持続可能な
開発会議

どうすれば参加 貢献できるのですか？

各国政府だけで持続可能な開発を進めることはできません。人々、コミュニティ・グループ、組織、企業、そして学識者間のパートナーシップが必要です。**リオ+20**は、パートナーシップを形成し、あらゆる関係者の活動にスポットを当てる絶好の機会です。公式ウェブサイト (www.unscd2012.org) は、市民社会、企業、学識者、NGOがリオ+20に向けたそれぞれの準備活動を共有する場となります。公式サイトには、会議への参加登録の方法に関する情報も掲載されています。

公式サイトでは、ニュースレターの購読申込みができます。ツイッターやフェイスブックで**リオ+20**の動きを追ってみてください。また沙祖康（シャ・ズカン）リオ+20事務局長のブログも是非ご覧ください。

ドナー機関の方々には、会議準備プロセスにすべての関係者が参加できるよう、金銭や現物による寄付をお願いしています。寄付について詳しくは、下記にお問い合わせください。

Ms. Kathleen Abdalla
Chief, Fundraising and Logistics Cluster
UNCSD (Rio+20) Secretariat
Division for Sustainable Development,
UN DESA, New York
Tel : +1 212 963 8416
Email : abdallak@un.org



UN Photo



リオ+20
国連持続可能な
開発会議

リオ+20は、どのように 組織されているのですか？

リオ+20は、国連システム全体の共同事業です。すべての国連機関による準備プロセスへの関わりと調整と促進は、会議のための専任の事務局が担当しています。

リオ+20事務局は、国連経済社会局に設置され、**沙祖康**（シャ・ズカン）事務次長が事務局長を務めます。**エリザベス・トンプソン**氏（バルバドス元環境大臣）と**ブリス・ラロンド**大使（フランス元環境大臣）の2人の執行調整官が事務局長を補佐します。

準備プロセスは、世界の全ての地域の国連大使11名からなるビューロー（局）が主導して進められています。

開催国のブラジルは、リオデジャネイロにおいてこの会議の準備を指揮しています。



リオ+20 国連持続可能な 開発会議

「全世界で、持続可能な開発に
根ざした持続可能な平和を築か
なければなりません。私が持続
可能な開発の課題を21世紀の
課題としたのも、このためです」

国連事務総長
潘基文(パン・ギムン)

問い合わせ先

リオ+20事務局：
uncsd2012@un.org

メディア関係：
国連広報局
mediainfo@un.org

日本語版発行：
国際連合広報センター(UNIC Tokyo)
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学本部ビル8階
TEL：03-5467-4451
FAX：03-5467-4455
Website： <http://www.unic.or.jp>
Facebook： <http://www.facebook.com/UN.Japan>



www.uncsd2012.org
www.un.org/sustainablefuture